



えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年

4月春の臨時号

中野区立江古田小学校

児童数 430名

TEL03-3385-0411

学校の教育目標 ○かんがえる子ども ○やさしい子ども ○たくましい子ども

目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



「グーの心」は自分の考えをしっかりとつ

「チョキの心」は正しい判断する

「パーの心」は優しい気持ちで親切な行動を

校長 松井 貴子

青空は美しく暖かな春の日差しに包まれ、沿道のツツジやシャクナゲが花を咲かせ始めました。皆様、御体調はいかがですか。

今、起きている社会の課題をその年齢や個人の置かれた状況に応じて、子どもたちは豊かな感性で受け止めていることと思います。臨時休業が続き、今一番は健康な生活について考える必要があります。

健康のためには、1日の過ごし方を考えることと身の周りの環境を整えることが必要です。まずは、生活リズムを整える習慣づくりをすることが大切です。それは、人生の時間という財産を大事にすることにもなります。そして、規則正しく起きることができるようになるのも、成長だと考えます。生まれてすぐの赤ちゃんは、このリズムがとれずにいますが、次第に周りの環境に合わせて睡眠をとれるようになります。幼稚園や保育園、学校生活が始まると、それに合わせて生活のリズムをつくり、自立に向けて自分で調整できるように学びます。

さて、新学習指導要領で示されているこれからの時代に求められる資質・能力は、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、生涯にわたって能動的に学び続けることです。

小学校では、3年生から保健学習で健康について、発展的・順序性をもって系統的に学びます。「健康とはどのような状態か」「健康でいるためには、何が必要か」について学んでいきますが、4年生以上の児童にとっては自分事として科学的に考えるよい機会です。保健指導や給食指導、清掃指導でもたくさんの勉強をしてきました。状況に応じて健康のためにできることを実践し、生きて働く力にしていきましょう。

1年生の皆さんも幼稚園や保育園で手洗い・うがいなどの方法について習っています。ご家庭でも、保健便りなどのバックナンバーを参考にされたり、新聞やテレビニュースなどをもとに話題にしたりして、子どもたち一人ひとりが「自分の身は自分で守る」ことについて考えられるように工夫して実践していただければと思います。

自他の健康を第一に考え、外での出歩きも人との関わりも自粛制限がある中、自分で計画を立て充実した一日を過ごすことは大人でも思いのほか難しいことに感じられます。入学式では、1年生の皆さんに「グー」「チョキ」「パー」の心を持ち、家庭でも学校でも楽しく生活しましょうと話しました。子どもたちにとってこの臨時休業が「自ら学び、自ら考え、どのように判断し行動するのか」を自分で決める自己決定力を育てる時間としていきたいと考えています。本日、各学年より20日からの「今週の学習課題」をホームページに示しました。引き続き様々な対応への御理解と御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。そして、皆様の御健康を心より願っております。